

a 学校教育目標	「自ら伸びる」児童の育成 ～わくわく登校, 満足下校～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分を愛し, 夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 夢や目標に向かって, 自ら伸びようとする児童を育成する学校 【育成を目指す資質・能力】○知識及び技能 ○思考力・表現力 ○主体性
----------	--------------------------------	----------------------	---

評価計画				自己評価					改善方策	学校関係者評価					
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策	評価			コメント	
					目標達成	目標達成					イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成	○児童自らが目標や課題を設定して, その実現や解決に向け主体的に取り組む能力や意欲・態度を育成する。	○問いの設定に視点をあてた授業改善を行い, 児童の思考力・表現力の育成を行う。	①教師の肯定的評価 (1)「児童の問いから始まる授業を行っている。」 (2)「児童に問いをもたせる工夫を行っている。」	① (1)100% (2)80%											
			②児童質問紙肯定的評価の割合 「自分達で問いを作ることができている。」 「クラスの友達と話し合っ、問いを解決しようとしている。」 「問題を解く際には, これまでに学んだことや経験したことを使おうとしている。」	②80%											
			○各種学力調査に向けた対策や, 算数科の思考力・判断力・表現力のテストの分析を通して, 学力の向上を図る。	①全国学力・学習状況調査 全国比108%以上 ②標準学力調査 標準値+3ポイント ③単元末テスト 思考力・判断力・表現力等 学年平均通過率 80%以上	①全国比108%以上 ②標準値+3P ③80%以上										
豊かな心・健やかな体の育成	○沼田西小学校「五つの宝」に取り組む。 ○友達や故郷を愛する心情を育てる。 ○健康で活力ある生活を送るための基礎を培う。	○地域と連携し, 地域の宝を生かした学び『沼田西学』を通して, 児童の自己有用感, 共感的な人間関係, 規範意識を培う。 ○地域と連携し, 地域の宝を生かした取組を推進し, 郷土を愛する心や, 地域の役に立ちたいという児童を育成する。 ○外遊びや授業でのACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)を励行するとともに, 体育的な特別活動を工夫して行う。 ○体力テストで明らかになった課題解決に向けて, 準備体操やサーキットトレーニングを見直し, 走・握力・柔軟性の定期的測定を行う。	児童質問紙肯定的評価 (1)「自分のことが好き。」 (2)「自分には相談できる人や助けしてくれる人がいる。」	90%											
			児童質問紙肯定的評価 (1)「沼田西町のためになることをやってみよう。」	90%											
			①教師の肯定的評価 (1)「運動に慣れ, 楽しみながら活動できる取組を取り入れている。」 ②児童質問紙肯定的評価 (1)「進んで外遊びをしたり体を動かしている。」 (2)「体を動かすこと(運動)が好きである。」	① (1)100% ② (1)80% (2)80%											
			「50m走」「握力」「長座体前屈」の種目で, 前回測定時より上昇した児童の割合	80%											
信頼される学校づくりを推進する。	○協働的な学校運営を行う。 ○子供と向き合う時間を確保する。	○年間計画表を指標として, 主任の機能化と部会の活性化を図り, PDCAサイクルにより協働的な学校運営を行う。 ○組織的に業務改善を推進し, 子供と向き合う時間を確保する。	教職員自己評価肯定的評価 (1)「2部会などの参加を通して協働的な学校運営に取り組んだ。」	100%											
			①教職員自己評価肯定的評価 (1)「業務の効率化を図り, 児童と向き合う時間の確保につなげた。」 ②教職員の時間外在校時間平均43時間以内	①90% ②100%											

【j: 自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【l: 学校関係者評価 評価】
イ: 自己評価は適正である。
ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: 分からない。